

2015年2月
No.15-031a(山)※1

検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、下記項目につきまして検査内容を変更させていただきますので、取り急ぎご案内する次第です。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

記

■検査項目/変更内容

- 別掲の「検査内容変更一覧」をご参照下さい。

■変更期日

- 2015年3月31日(火)受付日分より

以上

●検査内容変更一覧

項目 頁	項目 コード	検査項目名	変更箇所	新	旧	備考
85	3110	HCV 群別(グルーピング)	所 要 日 数	3~5 日	4~6 日	現行試薬の販売中止
			検 査 方 法	CLEIA [シスマックス]	EIA [シスマックス]	
91	3692	ヘルコバクター・ピロリ抗体 IgG(国内株)	検 査 項 目 名	ヘルコバクター・ピロリ抗体 IgG(国内株)	ヘルコバクター・ピロリ抗体 IgG(国内株)	汎用試薬の採用
			所 要 日 数	3~5 日	3~6 日	
			検 査 方 法	LA [栄研化学]	EIA [栄研化学]	
112	[セカンドコード] 0019	ABC 分類	所 要 日 数	3~5 日	3~6 日	ヘルコバクター・ピロリ抗体の検査方法変更
			検 査 方 法	ペプシノゲン:LA ヘルコバクター・ピロリ抗体:LA	ペプシノゲン:LA ヘルコバクター・ピロリ抗体:EIA	
123	1813	25-OHビタミンD	項目 コード	1915	1813	LC-MS/MS法の採用
			検 査 項 目 名	25-OHビタミンD分画	25-OHビタミンD	
			検 体 量	血清 0.3mL	血清 0.2mL	
			保 存	凍結	冷蔵	
			所 要 日 数	7~14 日	6~13 日	
			検 査 方 法	LC-MS/MS	RIA 2 抗体法	
			基 準 値	D ₂ :12.1 ng/mL 以下 D ₃ :5.5~41.4 ng/mL	7~41 ng/mL	
			報 告 形 態	D ₂ 、D ₃	D(Total)	
-	2026	クロルプロマジン	検 査 場 所	LSI メディエンス(→1)	エスアールエル(→5)	医薬品インタビューフォームに準拠
			有効治療濃度	30~350 ng/mL	設定なし	
-	3930	大腸菌 O-157LPS 抗体:LA	検 体 量	血清 0.3mL	血清 0.5mL	検体量の見直し

ヘリコバクター・ピロリ抗体

ヘリコバクター・ピロリ抗体 IgGの測定試薬を同一メーカーが販売する汎用自動分析装置用の総抗体価を測定する検査試薬に変更致します。新試薬ではIgG抗体に加え、IgAおよびIgMクラスの抗体を含む総抗体価を測定するため、陽性率が向上します。

なお、本変更に伴い、検査項目名をヘリコバクター・ピロリ抗体に変更いたします。

また、胃の健康度を調べる「ABC分類」検査で測定するヘリコバクター・ピロリ抗体も同様に変更いたします。

■新旧二法の相関

判定一致率

		旧法		
		陽性 (+)	陰性 (-)	計
新法	陽性 (+)	112	34 ^{※2}	146
	陰性 (-)	4 ^{※1}	450	454
	計	116	484	600

陽性一致率:96.6%(112/116)

陰性一致率:93.0%(450/484)

判定一致率:93.7%(562/600)

(LSI検討データ)

※1:旧法陽性、新法陰性の4例は両法共にカットオフ値付近でした。

※2:旧法陰性、新法陽性は IgA 抗体を認識しているものと考えられます。

25-OH ビタミン D 分画

25-OHビタミンDの検査方法を、新たに開発した液体クロマトグラフィータンデム質量分析法(LC-MS/MS)に変更いたします。従来は25-OHビタミンDの総量としてご報告していましたが、LC-MS/MS法では25-OHビタミンD2、D3を個々に定量し、各々の濃度が報告されるため、ビタミンDの体内動態を把握するために有用な検査になります。

なお、本変更に伴い、検査項目名を25-OHビタミンD分画に変更いたします。

■参考文献

渭原 博, 橋詰直孝:ビタミン 85, 280-290, 2011.

Saenger AK, et al:Am J Clin Pathol 125, 914-920, 2006.